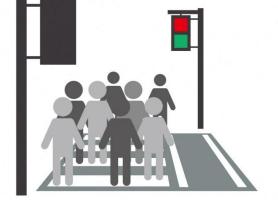
「やさしい信号機」 11月号 ~「こころの扉」を少し開いてみませんか~

考えたことでバリアに気付き、行 断するには今の信号では間に合わ 動したことでバリアの解消につな い信号機となったことでしょう。 娠中の女性や小さな子どもを連れ る日の新聞に、身体障がい者が横 という経験はないでしょうか。あ 号が点滅しはじめ、慌てて走った これは、障がい者の立場に立って た人など、あらゆる人たちに優し 障がいのある人たちに限らず、妊 延長された5秒により、高齢者や なりました」と書かれていました。 ちにとって少しやさしい信号機と んが、高齢者や障がいのある人た れていました。記事の終わりには 秒延長されたという記事が掲載さ 部交差点の歩行者用の青信号が5 ないという投書をきっかけに、 「たった5秒のことかもしれませ 横断歩道を渡る際、歩行者用信

> リアは見えてきません。 がった話です。 りを見てみると、何がバリアになっ ても、障がいのある人に対する偏見 でしょうか。無関心のままでは、バ ているのかが見えてくるのではない 理解して、その人の目線になって周 それぞれ違います。障がいの特性を 生活の中で困ること、不便なことも ってしまうことがあります。障がい や差別、無関心などがバリアをつく るバリアフリー化が進んできました。 状ブロック、スロープなど目に見え が使いやすいようにトイレや点(線) は種類や程度によってさまざまで、 しかし、バリアフリーの設備があっ 私たちの周りでは、障がいのある人

> > って築かれていくのだと思います。共生社会は、私たちの理解と行動によ思いやりの気持ちが生まれるはずです。で見えなかったものが見え、相手へので見えなかったものが見え、相手への

 $\lceil x - x \rceil - \rceil - x \rceil - x$



アを感じている人がいるのか想像し

4日から人権週間が始まります。ま

自分の周りにはどのようなバリ

12 月3日から障害者週間、

12

月